

シリーズ  
原発・いのち・みらい  
その58

第6回内部勉強会

福島県の小児甲状腺がん  
スクリーニングから学んだこと

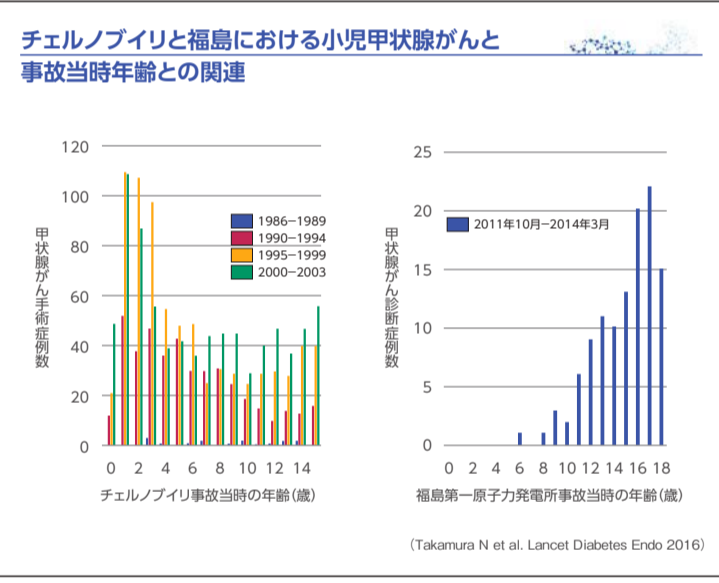
理事 斉藤 典才（金沢市・外科）

7月30日（木）に、久保実先生（石川県立総合看護専門学校校長）を講師にお招きし、第6回となる「原発・いのち・みらいプロジェクト」内部勉強会が開催された。久保先生は石川県立中央病院の小児科に長く勤務されてこられたが、その久保先生であっても小児甲状腺がんは一度も経験したことがないとのこと、それだけこの疾患は極めてまれであることをあらためて認識させられた。

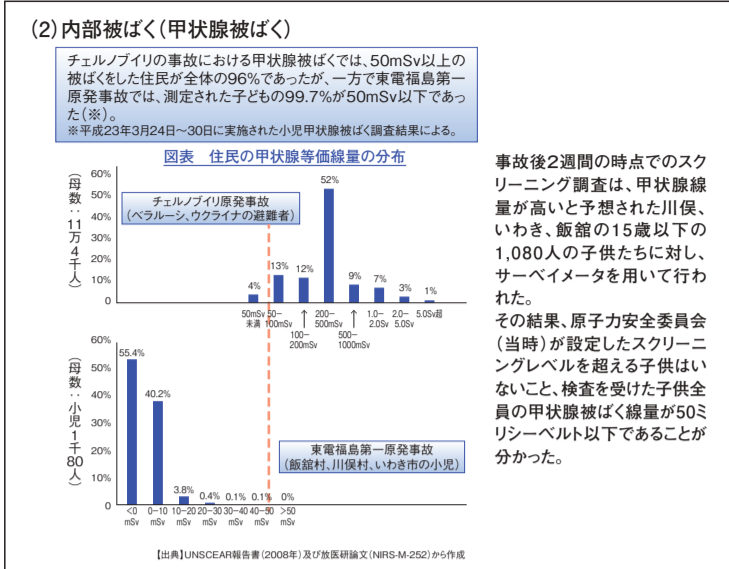


講師の久保実先生

久保先生は、東電福島第一原発事故後に起こった現在、放射線の影響による発生状況を詳しく情報収集された上で、事故後10年近く経った現在、放射線の影響による発生状況を詳しく情報収集された上で、事故後10年近く経った現在、放射線の影響による発生状況を詳しく情報収集された上で、



資料3



資料1

がん・白血病 年齢による感受性の差

子供は小さな大人ではない

	ヨウ素131の 預託実効線量係数*1 (μSv/Bq)	ヨウ131を100Bq 摂取したときの 預託実効線量(μSv)	ヨウ131を100Bq 摂取したときの 甲状腺等価線量*2(μSv)
3か月児	0.18	18	450
1歳児	0.18	18	450
5歳児	0.10	10	250
大人	0.022	2.2	55

※1：代謝や体格の違いから、子供は預託実効線量係数が高い  
※2：甲状腺の組織加重係数は0.04から算出

出典：国際放射線防護委員会（ICRP）、ICRP Publication 119、Compendium of Dose Coefficients based on ICRP Publication 60, 2012

子供では大人と比較して、甲状腺や皮膚のがんリスクが高くなる

μSv/Bq：マイクローベルト/ベクレル

資料2

その理由の一つとして、旧ソ連は事故当時、牛乳の放射線ヨウ素の基準値を3700 Bq/kgに定めていたが、乳児用の粉ミルクには基準値を定めなかったことから3700 Bq/kgを超えた粉ミルクが流通していた。一方、日本では牛乳の放射線ヨウ素の基準値を300 Bq/kgに定め、同時に乳児用の牛乳や粉ミルクについては100 Bq/kgとしたことが背景にあったこと

紙幅の関係で全てを紹介することはできないが、例えば、被ばく線量の問題では、チェルノブイリ事故における住民の甲状腺被ばく線量は96%以上が50mSv以上であったのに対し、福島県の川俣町、いわき市、飯舘村の15歳以下の子どもたちを測定した甲状腺被ばく線量は99.7%が50 mSv以下であった(資料1)。

次に、事故当時5歳以下からの発見がないことについての説明であるが、その前に、放射線の年齢による感受性の違いを知っておく必要がある(資料2)。このスライドによると、3か月児や1歳児といった小さな子どもほど、放射線ヨウ素への甲状腺等価線量が著しく高くなるのが理解できる。その上で資料3を見ると、チェルノブイリでは事故当時0～5歳であった子どもにがんが多くみられたのに対し、福島では事故当時0～5歳であった子どもへの発症はほとんどみられず、多くが10歳以上である。

これらの理由から、久保先生は一部には放射線の影響があることは否定できないとしつつ、福島で起こっている小児甲状腺がんの多発はスクリーニング効果が主で、スクリーニングによって見つけなくてもよいがんを見つけ、手術して一致した。

国連核兵器廃絶デー記念上映  
映画「おかあさんの被爆ピアノ」

原爆を投下された広島で奇跡的に焼け残った「被爆ピアノ」と、被爆2世の調律師として全国に被爆ピアノの音色を届けている矢川光則さんの実話をもとに、佐野史郎と「AKB48」の武藤十夢のダブル主演で描くオリジナル映画です。



核戦争を防止する石川医師の会(事務局:石川県保険医協会)では、2018年に映画の題材となった被爆ピアノによるコンサートを開催し、矢川さんにもお話していただきました。ぜひこの機会に映画館にてご覧ください。

【ところ】 9月26日(土)～10月2日(金)  
連日 午前10時20分～(1日1回上映)

【ところ】 シネモンド  
(〒920-0961 金沢市香林坊2-1-1 香林坊東急スクエア4階)

【主催・お問い合わせ先】 シネモンド (電話 076-220-5007、ホームページhttps://cine-monde.jimdofree.com/)

【協力】 核戦争を防止する石川医師の会